

ヤマト科学主催 ～菌数測定 of 最新トレンド～ 微生物測定ウェビナー

**参加費
無料**

食品、化粧品、製薬、化学製品における菌数測定は、製品の安全性を確保するために欠かせない重要な工程です。近年では生産性向上の観点から迅速法への関心が高まる一方で、従来の培養法においても効率化と自動化が求められています。本ウェビナーでは、従来法と迅速法の両面から、最新の菌数測定技術とその活用事例をご紹介します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催日時、申し込み方法

7月23日(水) 15:00～16:30

申し込み方法：下記URLもしくは右のQRコードからの登録フォームにて
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_-ATHB28bTSWR1yK-YbIt2g



- ・ ウェビナーお申込みは上記URLをクリックするか、QRコードをスマホやタブレット等で読み込みください。
- ・ 本セミナーはZoomウェビナーを使用します。パソコン、またはタブレットの場合はアプリをダウンロードする必要なしにブラウザで参加できます。
- ・ 推奨ブラウザ: Microsoft Edgeまたは Google Chrome

講演プログラム

講演1 「～目視のパラツキをゼロに！～ 誰でも正確・効率的にカウントできるコロニーカ ウンター」

ヤマト科学株式会社 科学機器営業部 飛田研司



コロニーカウンター
CCシリーズ

培養法は製薬分野では薬局法、食品分野では食品衛生法に準拠した方法です。しかし、目視でコロニーをカウント行うことは個人によるパラツキが生じる原因になります。また、作業者の負担にもなるという課題があります。

本講演では、この目視作業をコロニーカウンターに置き換えることで得られる労力の削減、時間短縮等のメリットについて説明いたします。

講演2 「～最短10分の菌数計測！～ 蛍光染色法による迅速検査の活用事例のご紹介」

株式会社シバサキ 技術開発グループ 工藤岳史



微生物迅速検出装置
rapisco RF-mk2

蛍光染色法は、培養工程を必要とせず、短時間での菌数計測を可能にする迅速検査手法です。使用する染色試薬を選択することで、生菌だけでなく、従来の培養法では検出が困難な死菌や総菌の評価も行うことができます。

本講演では、食品分野、抗菌性評価、環境・衛生管理など、幅広い分野への応用が期待される蛍光染色法の特長や、設置場所を選ばないコンパクト設計の迅速測定装置について、具体的なアプリケーション事例とともにご紹介いたします。

講演3 「～1菌から検出可能！～ ATP生物発光法を用いた微生物迅速検査装置の使用 事例」

株式会社堀場アドバンスドテクノ

Rapica事業部 Technical Salesチーム 小牧知史



微生物迅速検査装置
Rapica

ATP生物発光法は、微生物内のATPを検出することで、微生物の存在量を短時間で評価できる迅速検査手法です。本講演では、このATP生物発光法を原理とし、約2.5時間で最大24検体を自動測定できる微生物迅速検査装置について、装置の特長と実際の測定事例を交えてご紹介します。あわせて、GMP管理下での運用に求められるバリデーションフローの概要についても解説いたします。

講演4 「～製薬用水の生菌数試験に革命！～ フローサイトメトリー法による迅速測定とは？」

セントラル科学株式会社 業務推進部 梅谷光祐



バイオバーデン迅速分析装置
Sievers Soleil

日本薬局方では、微生物迅速試験法が微生物管理レベルの向上や汚染リスク低減に寄与する手法として参考情報に記載されており、従来の生菌数試験法と比較して迅速性・精度の面で優れていることが多いとされています。

本講演では、製薬用水の生菌数を約45分で簡便に測定できる、フローサイトメトリー法による迅速測定装置をご紹介します。